ボーリング柱状図

調査名	向地区　急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	2	2	5	3	5	0	0	0

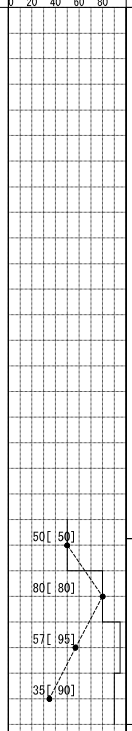
シートNo.

ボーリング名	No.28-3	調査位置	呉市蒲刈町　向			北緯	34° 11’ 35.0620″
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	平成28年 5月17日～平成28年 5月19日			東経	132° 41’ 18.1770″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	11.84m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	14.00m								

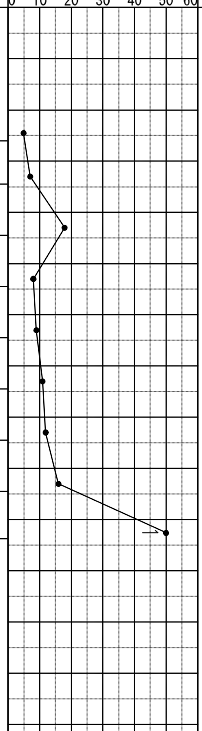
試錐機	東邦地下工機D1-B48型	ハンマー落下用具	自動落下
エンジン	ヤンマーディーゼル　NFD-12	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	11.49	0.35		砂礫	灰						泥岩の角礫主体。	
1				転石	白灰						硬質な石灰岩の転石。 所々薄く褐灰色に変色し、剥離している。 直径1.8mの転石。	
2	9.69	2.15										
3				砂礫	暗灰						全体にφ2mm～φ30mmの泥岩の角礫が主体となり、砂は粘土分少量含む細砂～粗砂。 GL-5.00m付近より徐々に粘土分が増加する。 GL-9.00m付近より石灰岩の亜円礫が混じりだし、褐灰色の土砂が薄層状に挟む。	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10	1.47	10.37									(崩石土性の土砂)	
11				石灰岩	白灰	B	I～II	a～b	α	1	GL-11.00m付近まで、亀裂ややあり、コア面粗い。 全体に、非常に硬質で、剥離面は薄く褐灰色に変色しているが、密着している。 灰白色を示す塊状の石灰岩である。	CH
12												
13												
14	-2.16	14.00										
15												
16												
17												
18												
19												

コア採取率 ×—× (%)　最大コア長 ---●--- cm　RQD ——— [%]



孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験
	2.30	5/30			
	2.60				
	3.15	7/30			
	3.45				
	4.15	18/30			
	4.45				
	5.15	8/30			
	5.45				
	6.15	9/30			
	6.45				
5/19 7.37	7.15	11/30			
5/19 8.00	7.45				
	8.15	12/30			
	8.45				
	9.15	16/30			
	9.45				
	10.15	50/22			
	10.37				



掘進日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
	420			1		0	無水／0	0
	120			2	60			
	160		HW／DI	1	200	1	泥水／8	8
5/17	1644	66	シングル／打ち込み	0	0	0	無水／0	0
	857							
5/18	300		HW／DI	1	1	1	泥水／8	8
	211			1	1			
5/19								